

学年・教科：3 年・国語

単元名：説明文「こまを楽しむ」

時	活動	成果・子どもたちの様子	備考（使用したものなど）
1	・「こまを楽しむ」題名を読み、これまで遊んだ体験やこまの種類について共有する。 ・ 1 段落の内容確認 ・ 2 段落からの内容予想	・身近にある「こま」で遊んだ体験や家にあるこまの写真をとり、クラスの友だちと見合うことで、文章を読む意欲が高まった。 ・ 説明文であることや「筆者」「段落」「問い」「答え」などの用語を再確認することができた。	・ 電子黒板 ・ 教科書本文 ・ ノート
2	・ 2 段落を読み、内容を理解する。	・ 「どんなこまがあるのでしょうか」（問い①）「どんな楽しみ片ができるのでしょうか」（問い②）に対する答えを 2 段落から探し、文中に線を引く。「中」のはじめの段落を全体で丁寧に進めることによって、3 段落以降の取り組みがスムーズであった。	
3 ～ 5	・ 2～4 段落の内容をワークシートにまとめる。	・ 具体物を操作したり、動画を見たりして、こまの動きを観察できるようにしたことで、文章の内容の理解を促すことができた。 ・ 「どう」「心ぼう」「表面」「くうどう」などの語句は挿絵や動画を見せながら確認し、それぞれがわからない語句は、子どもたち同士で説明し合うことができた。	・ ワークシート① ・ 色ごま、さかだちごま ・ 「なりごま」動画
6 ～ 8	・ 5～7 段落の内容をワークシートにまとめる。	・ 2～4 段落のシンプルな構造と、説明の仕方や文章での表現が異なる文をよく読み、「つくりのくふう」、「回る様子」に当てはまる表現や文章を探し、話し合うことができた。 ・ 三つのこまの楽しみ方、つくりの工夫、回る様子を表にまとめることができた。 ・ 「たたきごま」「曲ごま」「ずぐり」の動画を見せることで、文章の内容理解を促した。	・ ワークシート② ・ 「たたきごま」「曲ごま」「ずぐり」動画
9	・ 8 段落を読み、内容を理解する。	・ 「このように」ということばから、どの段落をまとめているかを考えて話し合うことができ、1～7 段落までの内容を振り返ることができた。 ・ 3 文目の筆者の思いに触れ、筆者はどのような人物か注釈を読んで確認することができた。	・ ノート
10	・ 1 段落～8 段落までの文章を「はじめ」「中」「終わり」に分ける。	・ 個人で段落構成を考えて書き、意見を交換して、段落のまとまりや「はじめ」「中」「おわり」がどのように分けられるかを確認することができた。 ・ 「中」である 2 段落～7 段落を 2 つに分けるとするとどこで分けられるかを話し合い、「回る様子を楽しむこま」（2～4 段落）「回し方・回す場所を楽しむこま」（5～7 段落）で分けられることを理解し、表に記入することができた。 ・ 各段落の中心文を確認することができた。	
11	・ こまの紹介文を書く	・ 説明文に出てくる 6 つのこまの他に、個人で持っているこまも含めて、紹介したいこまの写真を選び、楽しみ方・つくり・えらんだ理由を書くことができた。	・ ワークシート③
伸ばせた力、子どもの変化、保護者の反応など ・ 内容を表にまとめることを通して、文章の内容を細部まで読み理解しようとする姿が見られた。 ・ 子どもたちが持っているこまを紹介し合うことや文章中に出てくるこまを実際に回すことを通して、説明文を読む意欲が高まった。			

所感

・終末の活動である、「こまの紹介文を書こう」は、家庭学習で取り組ませたが、全体の6割くらいの提出にとどまった。学習したことや興味があることについて、「書く」ことや「まとめる」ことに対しては、学年全体で力の差があるため、「書く」ことに課題がある児童に対しての声かけや支援方法について考え、取り組んでいきたい。